

## 未利用資源を利用した家畜ふんの堆肥化技術(第2報)

畜産試験場

寺井智子、佐竹康明

廃棄物処理されている未利用資源の、堆肥化における副資材としての有効性について、前報の結果に基づき、小型堆肥舎を用いて、オガクズと5資材の未利用資源の混合による発酵温度及び堆肥成分を、混合割合の違いも含めて検討した。その結果、生分解性スポンジ、アメ粕及びケールジュース粕をそれぞれ混合した区の発酵温度は、延べ10日以上、60を超えた。ECはすべて堆肥評価基準内であった。生分解性スポンジ、竹ペレット及びチップ粕をそれぞれ混合した区におけるコマツナの発芽率は80%以上であった。また、アメ粕、ケールジュース粕をそれぞれ混合した区は、生分解性スポンジやオガクズの混合割合を増すことにより発芽率が改善した。5資材のC/N比はオガクズ区(対照)より低かった。以上のことから、未利用資源とオガクズの一部代替利用により、発酵期間の短縮や堆肥成分の向上がみられ、堆肥化における副資材としての未利用資源の有効性が示唆された。

畜種：牛 分類：その他